

ネモフィラ



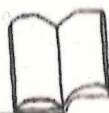
学年通信の名前が決まりました。『ネモフィラ』。ネモフィラ全体の花言葉は「どこでも成功」「可憐」「あなたを許す」です。愛らしいイメージのネモフィラですが、強い生命力を持ち、多少の日陰やアスファルトの隙間でも、ぐんぐん育っていく丈夫な一面も。そんな特徴から「どこでも成長」という花言葉がつけられたそうです。沢山のネモフィラが寄り添って咲く様子が目が行きがちですが、小さい花びらの中に織りなされる青のグラデーションも美しい花です。この花のように、一人一人が逞しく成長し、他者を許せる人になってくれれば…。名前を考えてくれた皆さんありがとうございました…

来週からは完全冬服実施です。マフラ

一、ネックウォーマーもOKですが、校舎に入ったら外そう（マナーです）
使い捨てカイロは家に持ち帰ること！



来週の予定



日	曜	学校行事等	持ち物・提出物
3	月	文化の日 <u>期末考査2週間前</u>	
4	火	50×⑥ ※完全冬服実施	白衣
5	水	45×④ 掃除なし 部活動再登校16時（顧問がつける場合のみ）	
6	木	50×⑥ ※1・3・4組授業変更有	
7	金	50×⑥ ⑥総合（金子T授業） 江戸川区芸能祭学芸会（演劇部参加） ※1組授業変更有	白衣持ち帰り

※ 3日（月）から期末考査2週間前になります。計画的な学習を！！

※ 4日（火）から完全冬服実施となります。今週末に冬服の準備を行ってください。

※ 5日（水）は給食後下校になりますが、15時までは家庭学習時間です。遊びに行ったりしないこと。

※ 6日（木）、7日（金）には授業変更があります。今回は限定的なものなので記載しませんが、1、3、4組の人は間違わないように注意してください。

文化祭を終えて…（敬称略）

1組 阿川 叶羽 『季節が変わっても変わらないもの』

合唱コンクールが終わって、いま心の中にはクラスみんなとの沢山の思い出が残っています。練習はとても大変だったけど、クラスみんなと力を合わせて頑張った時間はどれも楽しくて忘れられません。私はもともと歌うことが大好きです。家でもよく歌を口ずさんだり、好きな曲を何度も聞いたりしています。でも合唱練習を始めた時、自分のパートは音を上手く取れず、思うように歌えませんでした。高い声も低い声も出にくくて、最初は少し自信を無くしていました。それでも、「自分に出来ることを精一杯やろう」と思い、家で自分のパートの音源を何度も聞いて練習しました。音源を聞きながら声を合わせたり、出しづらい音を何度も繰り返したりして、少しずつ歌えるようになっていきました。合唱コンクールの本番では、練習の成果を出そうとみんなで精一杯歌いました。結果は残念ながら賞を取ることは出来ませんでした。でも私は結果よりも、此处までみんなで頑張ってきた時間の方がずっと大切だと思いました。出来なかったことを少しずつ出来るようにしていく過程で、自分の成長を感じられたし、クラス全体が少しずつ一つの方向にまとまっていくのを感じました。特に印象に残ったのは、歌の歌詞「桜が咲き季節めぐりそれでもそこにあなたがいた」という部分です。この歌詞を初めて聞いた時、凄く心に響きました。桜は毎年同じように咲くけれど、咲く度にこの思い出が気持ちを思い出させてくれる花だと思います。この歌詞には季節は変わっても変わらないような「大切な存在」や「思い出」があるというメッセージが込められていると思いました。私にとってそれは、クラスみんなとの時間と、努力を重ねた自分自身であると思います。これからもこの経験を忘れずに次に向かって頑張りたいと思います。そして

裏面に続く

歌詞にある「桜が咲き季節めぐりそれでもそこにあなたがいた」という言葉のように、時間が経っても変わらない思いを胸に、この合唱コンクールで感じた気持ちを大切にしていきたいです。この思い出は、ずっと私の心の中に残り続けると思います。

2組 永井 日菜 『文化祭を終えて』

「一学年、最優秀賞は…」三秒ほどの沈黙の後、聞き覚えのあるイントロが流れた。「うわー！やったー！」二組のみんなが喜んでいる声が聞こえてくる。一位を取れて嬉しいという気持ちと共に二組で良かったと思った。一位を取れていなくてもそう思っていたと思う。みんなで力を合わせて努力してきたという軌跡が結果より大切だと思うからだ。文実の二人やパートリーダー、指揮者、伴奏者のみんなには感謝を伝えたい。特に文実の二人は、合唱練習の時に今日はどんな練習をするのか、どのようにやるのかを考えてみんなを引っ張ってくれた。指揮者の黒木さんは、合唱の前に弁論で素晴らしい発表をして疲れているはずなのに、笑顔で指揮をしてくれて私も楽しく歌うことができた。伴奏者の小坂さんは手を怪我しているといっていたけれど、素晴らしい演奏で二組を優勝へと導いてくれた。アドバイスをくれた米谷先生、林先生にも感謝を伝えたい。二、三年生の合唱や吹奏楽部の演奏も凄かった。来年は私達も二年生のような合唱が出来るのかなど不安になるくらい完成度が高いと感じた。三年生は声も出ていてさすがだなと感じた。吹奏楽部は聞いているだけではなくて、拍手をして楽しく参加できて面白かった。文化祭では弁論を聞いたり、六組の方の職場実習を聞いたり、合唱、吹奏楽部の発表を聞いたりした。聞いているだけだと退屈になると思ったけど、最初から最後までとても楽しく過ごせた。なにより、最優秀賞をとれたことがとても嬉しかった。みんなで頑張ってきた軌跡が奇跡なんかではない、最優秀賞という素晴らしい結果になった。運動会からの喜劇の連続で、無敵で素敵で天才的な二組。他からしたら強敵。二組サイコー。

3組 小澤 結衣 『悔しく楽しい文化祭』

私は今回初めての文化祭で実行委員になった。最初はワクワクな気持ちから始まり、文化祭実行委員という責任をもっと頑張ろう、最優秀賞を取ろうと張り切っていました。一番最初の文化祭実行委員の集まりでは、3年生や2年生もいて、凄く、凄く緊張しました。けれど、周りの一年生も同じような気持ちだろうと思うと、少し緊張がほぐれてきました。文化祭実行委員の最初の仕事は、Bluetooth や電子ピアノ、CDの準備でした。運ぶのは重くて大変だったし、ピアノのペダルが反応しない文化祭実行委員がどこかに行ってしまうなど、準備するだけでも結構大変でした。ここだけの話、CDのコードを一回なくしてしまい、見つかったけれどハラハラしました。こんなんで大丈夫かなと何度も思いました。けれども文化祭実行委員の人達は優しく、面白く、楽しかったです。合唱練習では、みんな言うことを聞かず、静かにしてと言っているのに喋ってばかりでうんざりしました。パートリーダーのいうことも聞かないし、どうしようもなくなってきました。けれど、他学年の合唱を聞いて負けていけないと思ったのか、頑張るようになってきました。先生も凄く良いことを言ってくれたので、いいなと思う合唱が増えてきました。列ごとに歌うと、声が出る列と出ない列に分かれてきました。けれど、何とかみんなの心が一つになれてきました。そして本番当日。私は文実として司会をしました。凄く緊張しました。少し噛んでしまったりしたけれど、先生にお疲れ様と言ってもらえたので嬉しかったです。クラスは賞に選ばれなかったけれど、みんなで頑張ったあの練習を、どれだけ必死にやったかが大切だと思いました。私は今回、悔しかったけれど凄く楽しい、良い思い出になったと思います。

4組 服部 雅姫 『文化祭』

みんなで何かを作り上げることは、こんなに大変なのだろうか。私は文化祭を通して、その答えを少しだけ見つけた気がします。私達のクラスは『この星に生まれて』を歌うことになり、ソプラノやアルト、テノールでわかれてパート練習をしてきました。音程が合わなくなったり、つられることが多々ありました。それでも何回も合わせたり、繰り返し頑張りました。時には歌う前に4組で笑い合ったりした時には、合唱での不安もありましたが、4組はやっていけると実感しました。先輩のアドバイスを取り入れて強弱をつけるようにして、一人一人が挑みやった結果は、鳥肌レベルと先生に言われて、やっぱり4組は最高だなと思いました。リハーサルするとき視線が全然指揮者を見ていなくて指摘された一人一人が努力をして、スマイルと視線を意識するように頑張って、いよいよ本番の日。最初の30分だけ練習をして、残った時間は円陣を組んでみんなに一言をやった。緊張する中、4組の今まであったことを思い出しながら、4組の目標『天歌統一』を目指して取り組みました。結果は優秀賞だった。音楽が流れた時には友達と一緒に喜びました。終わった後に4組で写真を撮った。これは4組の一生の思い出です。